

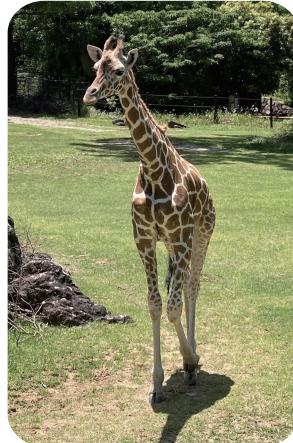
解説

◇このワークシートのねらい

小さい頃から知っているアミメキリンやグラントシマウマですが、じっくりと観察することはあまりないのでしょうか。細かいところにまで目をむけて観察する力をつけ、動物たちに興味をもってもらいたいと思います。

対象動物

アミメキリン
偶蹄目キリン科



グラントシマウマ
奇蹄目ウマ科



グラントシマウマの模様をかいてみよう！

のいち動物公園で飼育しているのは、タンザニア、ケニアなどのサバンナに分布しているサバンナシマウマの1種でグラントシマウマという種類です。名前とおり、シマ模様が特徴の1つです。シマ模様は胴体だけではなく、足や尾、たてがみまであります。このシマ模様は1頭1頭異なっており、模様を見比べることで個体識別することができます。

グラントシマウマにはなぜシマ模様があるのか、ということがよく話題にあがります。群れで生活する動物のため集団でいると1頭に狙いをさだめにくくなる、虫をよせつけないようにするなどの様々な説があります。学校でもみんなで考えてみてください。

アミメキリンは何をしているかな？

アミメキリンの行動をじっくり観察してみましょう。

アミメキリンは、ケニア北部からエチオピア南部の草原地帯に分布しています。雄は、成長すると背の高さは5mにもなります。

グラントシマウマは、奇蹄目ウマ科ですが、アミメキリンは偶蹄目キリン科の動物です。蹄の数もグラントシマウマは1つ、アミメキリンは2つと違いますが、園内では距離があるため、はっきりと見えないかもしれません。近くに来た時によく観察してみてください。

草食動物は、肉食動物と比べ採食に時間をかけており、キリンはウシと同じく反芻をします。反芻をする動物は胃が4つあり、胃の中の微生物により草の繊維質を分解、口に戻して再度かみつぶし、最終的には第4胃で消化しています。口をモグモグと動かしていたり、首をよく見ていると食べたものを飲み込む、または戻しているのがわかる時があります。

その他にもいろいろな行動が観察できると思いますので、観察の時間を多めにとってあげてください。

また、アミメキリンもグラントシマウマ同様に、1頭1頭模様が異なります。展示場前に、その日展示しているアミメキリンの紹介パネルがありますので、個体識別にもチャレンジしてみてください。

アミメキリンとグラントシマウマのエサの食べ方を比べてみよう！

アミメキリンは、長い舌を木の葉にまきつけて、葉をからめ取って食べます。背が高いので、地面においたエサは食べにくく、寝室でも高いところにエサを設置します。一方グラントシマウマは、口先を器用に動かし、短い草を歯でかみちぎります。

◇まとめ

動物をじっくり観察することで、新たな発見があると思います。その発見が、動物に興味を持ち、正しく理解するきっかけになると思います。

このワークシートについてのご意見、ご感想がありましたら遠慮なく動物公園までお知らせください。またアンケートにもご協力をお願いします。

〒781-5233 高知県香南市野市町大谷738

高知県立のいち動物公園 ワークシート係

TEL 0887-56-3509 FAX0887-57-5251